



おおいたの 地域を担う ひとつづくり

VOL.7

平成28年8月発行

「OJIC(オージック)」とは O:大分県 J:自治人材 I:育成 C:センターの通称です。

OJICでは28年度も、県職員研修、市町村職員研修、そして両者の合同研修を数多く実施しています。今年度すでに実施した研修と、今後予定している研修をピックアップしてご紹介します。気になった研修はぜひ受講をご検討ください!

おおいた徴収カレッジ(初任者講座、リーダー養成講座、マネジメント講座)

県、市町村の安定的な財政運営に不可欠な自主財源確保のため、税をはじめとする徴収事務の強化を図ることを目的に、6、7月に「おおいた徴収カレッジ」を実施しました。



この研修は、今年度から初めて実施するもので、職務段階に合わせ、「初任者講座」、「リーダー養成講座」、「マネジメント講座」の3つの講座を実施し、職員間のネットワーク形成が図られるよう宿泊形式で行いました。

新任職員44名が参加した初任者講座では、東京都主税局徴収部個人都民税対策課の藤山彰美課長を招き、滞納整理の意義や目的、心構えなどについて説明を受け、併せて同課の捜索現場を撮影した映像を視聴しました。

また、元大分市財務部納税課長の丹生博己氏からは、徴収現場における体験や事案に基づく講義を行っていただき、滞納整理の考え方やポイント、組織のあり方などを学びました。

さらに、経験2年以上の職員26名が参加したリーダー養成講座と、管理・監督者32名が参加したマネジメント講座では、元横浜市財政局主税部長の鷲巢研二氏を招き、滞納整理に必要な制度の趣旨(意味)や、マネジメントに関する講義を行っていただき、現場のリーダー又は管理・監督者に求められる役割や心構えなどを学びました。

その他、県、市町村の現役徴収職員が講師として参加し、必要な知識やノウハウ等の説明、映像や写真などを使っての具体的事例の紹介等を行いました。特にリーダー養成講座では、班に分かれて取り組んだロールプレイングや困難事案検討において、アドバイザーも務めました。

受講者から、業務に役立つ知識や情報が得られただけでなく、他団体の職員と知り合えたことが良かったとの意見も多く寄せられましたので、今回の研修をきっかけに、県と市町村又は市町村間の連携がより強化されることが期待されます。



受講者の声

- 徴収職員として知っておくべきこと、すべきことや、先進団体の徴収業務の実例などを学ぶことができ、用語からだけではイメージできなかった部分も学ぶことができた。
- 知識だけでなく、知り合いが増えた。
- 新たに気付かされたことや再確認できたこともあったので、学んだことを業務に反映していきたい。

TOPICS 通信講座及び研修教材(ビデオ・DVD)貸出しのお知らせ

OJICでは、職員のみなさまの自己啓発を支援する目的で通信講座の受講料助成を行うとともに、職場研修を支援するため研修教材の貸出しを行っています。

在宅したまま自己研鑽できる「通信講座」では、今年度181講座を指定しています。詳細は、通信講座のパンフレットをご覧ください。

また、マネジメントや公務員倫理など職務に役立つ知識や技能等を視聴しながら学ぶことができるビデオやDVD等の研修教材を貸出しています。詳しくは、OJICホームページ(<http://ojic.or.jp/>)をご覧ください。

なお、平成27年度の受講者数又は利用回数が多かった通信講座、研修教材は以下のとおりですので、参考にしてください。

平成27年度 受講者数が多かった通信講座

- 第1位 ペン字・文章力入門(3ヶ月コース)
- 第2位 日商簿記検定3級受験(3ヶ月コース)
- 第3位 宅地建物取引士テキストコース(6ヶ月コース)
- 第4位 食生活アドバイザー3・2級(2ヶ月コース)
- 第5位 日商簿記検定3級コース(3ヶ月コース)

平成27年度 利用回数が多かった研修教材(ビデオ・DVD)

- 第1位 階層別コンプライアンスシリーズ 公務員編
- 第2位 パワーハラスメントを考える①/パワーハラを正しく理解するために
- 第3位 「心が伝わる」ビジネスマナーの基本
- 〃 活かそう!職場のダイバーシティ【全社員向け】一人ひとりがいきいきと働くために
- 第5位 さわやかな公務員の接遇さわやかな応対
- 〃 ケーススタディで学ぶ報連相の基本
- 〃 元気な職場をつくる メンタルヘルスケア6
- ①ストレス・コーピングによるセルフケア〜ストレスに上手に対処する方法〜

県職員研修

新任監督者研修「県民の声を聴く講座」

今年度新たに係長級に昇任した職員を対象に、新任監督者研修を実施しました。

1日目は「芸術・文化の講座」、「県民の声を聴く講座」、「人権と行政の責務」、「職場のメンタルヘルス」、2日目は「公務員倫理・人材育成」、「情報公開と個人情報保護」、「ワークライフバランス」、「マナー(接遇)講座」、そして、組別実施日である3日目は「中堅リーダー能力開発講座」を実施しました。

その中の「県民の声を聴く講座」は、第一線で活躍している講師から、目標実現のための実践的な取組内容やその姿勢を学ぶことを目的に実施しており、今年度は株式会社くしふるの大地 取締役 阿河秀紀氏に講演をしていただきました。

くしふるの大地は、平成21年に設立された農業生産法人で、「数年後を見据えた営農スタイルを創造し、常に挑戦していく姿勢で業務を遂行」することをモットーに活動されており、講師からは、大分県内の農業の現状や、自社の農業に対する先進的な取組、地域活性化への貢献など幅広い話を聞くことができました。



受講者の声 県民の声を聴く講座

- 農業生産法人を経営する上での創意工夫や協力体制の構築、稼ぐ仕組み、従業員のモチベーションアップ等、多様な発想と取組を聞くことができ刺激を受けた。
- 新しい分野への取組に際し、長期的なビジョンを持つこと、周囲を巻き込んで地域ぐるみで行うことなど、県職員として仕事を行う上でも重要なポイントを聞くことができた。

中堅職員研修「キャリアモデル」



法務室 田原主幹

今年度、採用4年目以降かつ26歳以上となる職員等を対象に「中堅職員研修」を実施しました。

この研修では、「県職員としての資質の向上並びに職務遂行及び政策立案の基礎となる知識・技術を習得すること」を目的に、2日間の日程により実施しました。

1日目は、「総務部長講話(中堅職員への期待)」、「人権と行政の責務」、「県民の声を聴く講座(おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーン官民一体となってスタート)」、「公務員基礎講座(地方行政と「法」)」を実施しました。

2日目は、「公務員倫理・人材育成」、「キャリアモデル」、「グローバル人材育成講座(これからの海外との向き合い方)」、「政策基礎講座Ⅲ(自治体における政策形成の必要性とその方法)」を実施しました。

とりわけ、キャリア開発プログラムに基づく職員の能力向上の必要性を理解し、研修制度等の活用について認識を深める「キャリアモデル」では、今年度、「キャリアモデル」に指定された職員二人を講師に迎え、自らの経験を基にした熱いメッセージを若手職員に伝えていただきました。

また、1日目の研修後には、希望者70人以上による意見交換会を実施し、大変盛況でした。



こども・女性相談支援センター
坪居副主幹

受講者の声 キャリアモデル

- 講師自身の経験談や大切に思っていること等を話していただき、今後、自分のキャリアプランを考えるうえで参考になった。
- 自分の強みを活かせる業務について成果をあげているキャリアモデルの方は、とても仕事を楽しんでいる印象を受けた。
- これまでの貴重な経験を聞くことができて良かった。改めて公務員の業務の幅広さと奥深さを感じた。講師の二人が、自身の仕事に誇りを持っている姿が印象的で、自分もそうなれたらと思った。

今後の主な研修のお知らせ

- ◆ 評価者研修Ⅰ
H28.8.3・4・5・16・17・18・19
- ◆ 評価者研修Ⅱ
H28.8.23・24・25・26

- ◆ キャリアプラン研修(30)【第2組】
H28.9.1
- ◆ キャリアプラン研修(40)【第2組】
H28.9.2

- ◆ 採用2年目職員研修【共通実施日】H28.10.3 【第1組】H28.10.13~14
【第2組】H28.10.27~28 【第3組】H28.12.8~9
- ◆ 新採用職員研修(後期)【共通実施日】H28.10.7 【第1組】H28.10.17
【第2組】H28.10.24 【第3組】H28.11.2
- ◆ 新採用職員グループアドバイザー研修(第2回) H28.10.7



託児サービスやっています！

育休中の県・市町村職員の皆さんも、OJICで実施している研修を受講することができます。託児を希望される場合は、事業者による託児サービス(未就学児対象)を手配しておりますのでお気軽にご利用ください(自己負担はありませんが、事前のお申込みが必要です。)

周囲に育休中の職員がいる皆さま、職員研修ご担当の皆さま、育休中の職員の皆さまに積極的にご案内ください。

市町村職員研修

新採用職員研修(前期)

公務員としての自覚と意識の確立を図るとともに、「全体の奉仕者」としての使命感を認識し、併せて職務遂行に必要とされる基本的な知識、技能及び態度を習得することで、職場への適応能力を養うことを目的に、別府市の豊泉荘において、2泊3日の合宿形式で、「新採用職員研修(前期)」を実施しました。

この研修は、平成28年度新規採用職員及び平成27年度中途採用職員を対象に、4月12日～14日、6月20日～22日、7月6日～8日の3組に分かれて実施し、それぞれ第1組が99名、第2組が104名、第3組が104名の新採用職員が参加しました。

当初、第2組及び第3組も4月の実施を予定していましたが、熊本地震の発生に伴い、実施日が変更となりました。

研修は公務員として基本的な「ビジネスマナー」、「職場の人間関係・組織と仕事」、「文書事務」、「地方公務員制度」、「接遇」、「先輩からのメッセージ」、「公務員倫理」の講座を受講しました。この研修を通じて学んだことを、しっかりと自分のものとするとともに、公務員の「プロ」としての自覚を常に意識して、実践していただきたいと思います。



受講者の声

- 相手に失礼がないよう、また安心や笑顔を与えることができるよう、日ごろから言葉づかいに気を付けていきたい。(ビジネスマナー)
- チームワークの大切さと、PDCAサイクルの大切さを学んだ。(職場の人間関係)
- 文書管理の重要性を改めて確認することができた。(文書事務)
- 公務員は全体の奉仕者であり、全体の利益のために公正に行うこと、最少の経費で最大の効果を上げるということを改めて意識するきっかけとなった。(地方公務員制度)
- ロールプレイを行うことで、良い点・悪い点が共有でき、次の実践につなげたいと思った。(接遇)
- 自分の所属する市町村を超えて交流を図ることで、より業務を円滑に進めることができるということが分かった。(先輩からのメッセージ)
- 公務員として当たり前のことを当たり前に取り組む姿勢が大切であると学んだ。(公務員倫理)
- 部屋も班も、最初は知らないばかりで、不安でしたが、他の市町村の方と交流を深める良い機会となった。

研修担当者研修

県内全市町村の研修担当者を対象として、職員研修における幅広い知識の習得と研修企画能力の向上を図ることを目的に、5月12日～13日の2日間にわたって研修担当者会議と併せて実施しました。

1日目の「効果的な研修運営のための理論と体験」の講義では、別府大学文学部教授の佐藤敬子氏を講師として迎え、研修ニーズを的確に把握するためには、事務局・派遣者・参加者の3方向からのニーズを把握することが重要であることや、講師やファシリテーターとして必要なスキルである「伝える力」などを学びました。

2日目の「社会人として大切なことはみんなディズニーランドで教わった」の著者である香取貴信氏の講義では、貴重な体験談を通してサービスの本質について教示いただき、午後からの「ブラインドコミュニケーション」では2人1組で実習を行い、コミュニケーションやアクティブリスニングの重要性を学びました。

また、研修や意見交換会を通して積極的に他市町村との交流や情報交換を図り、ネットワークづくりに励んでいる姿も多く見られました。



受講者の声

- 研修自体にも様々な側面があることを今回の研修で再認識できた。今後、研修を実施する中でテーマによってどの側面を強調するか、ファシリテーターとしての役割を担いたい。
- 1日目、2日目ともコミュニケーションの大切さを改めて実感した。研修担当者として職員として、相手の立場にたったコミュニケーションを図り、業務に生かしたいと思った。

今後の主な研修のお知らせ

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ◆新採用職員研修(後期)【第1組】H28.10.4～6 | ◆法制執務研修 H28.10.13～14 | ◆事務処理マニュアル作成研修 H28.11.25 |
| 【第2組】H28.10.19～21 | ◆自治体政策のつくり方研修 H28.11.1～2 | ◆わかりやすい資料づくり研修 H28.12.6 |
| 【第3組】H28.10.26～28 | | |

合同研修

簿記・会計研修Ⅰ(入門)・簿記・会計研修Ⅱ(公会計・企業分析)



昨年度、県・市町村合わせてのべ437名の参加があった簿記の3つの研修を、今年度は受講ニーズに合わせて内容を整理し、2講座に統合して実施しました。

6月8日・9日の「簿記・会計研修Ⅰ(入門)」では、初めて複式簿記や財務会計に携わる職員やその基礎を学びたい職員を対象として、基本的な用語の解説や貸借対照表の作成など基礎知識の向上を図る内容で実施しました。

6月10日の「簿記・会計研修Ⅱ(公会計・企業分析)」では、前述の研修を受講した職員などを対象に、財務分析の基礎的な知識や、より正確に計算書類を作成するための知識の向上を図る内容で実施しました。

両研修とも講師は、日本ビジネスドック株式会社の主任講師である関口康尚氏が務め、元気とユーモアに溢れた講義内容に受講生は集中して取り組んでいました。

なお、今後はⅠ(入門)を9月29日・12月1日に、Ⅱ(公会計・企業分析)を9月30日・12月2日に実施しますので、積極的な参加をお待ちしております。

受講者の声

- 講師の声が大きく、参考事例やユーモアのある例えなど、おもしろく講義していただき、楽しく研修を受けることができました。
- とても分かりやすく、あっという間の1日でした。楽しかったので、簿記に対するイメージも変わった。
- 簿記の基礎がよくわかった。あとは問題をたくさん解いて、さらに理解を深めたい。

今後の主な研修のお知らせ

◆ファシリテーション研修
H28.8.22～23
◆政策ディベート実践研修
H28.8.23～24

◆リスクマネジメント研修Ⅱ【第1組】
H28.8.30
◆管理者の政策研修 H28.8.31
◆図解表現力向上研修 H28.9.5～6

◆プレゼンテーション能力向上研修
H28.9.8～9
◆政策形成能力基礎研修
H28.9.8～9

◆コーチング研修Ⅰ H28.9.15～16
◆地域づくり交流塾
H28.9.26～27・10.24・11.10～11
◆リスクマネジメント研修Ⅱ
H28.11.16～17



法務能力向上のための特別実務セミナー

昨年度好評だった「法務能力向上のための特別実務セミナー」について、内容をリニューアルして下記の日程で実施します。今年度は個別の課題に対応する条例や重要判例を研究する内容となっています。興味のある方は募集案内(8月頃予定)をご確認ください。

H28.11.16(水)～18(金)の3日間 定員40名(県20名・市町村20名)



岡田常務の研修雑感

ー3年目のスタートにあたってー

早いもので、私ども(公財)大分県自治人材育成センターが設立され、県職員と市町村職員の研修を一元的に行うようになってから3年目のスタートを切りました。

とかく、1年目2年目と時が過ぎていくと、研修一元化に至るまでの関係者の皆様方の熱意や努力の記憶も薄れていき、だんだんと今ある快適さに流されていきがちですが、研修のマンネリ化等に落ちいらないよう気を引き締めていかなければなりません。私も当時、研修一元化に向けた議論に僅かながらでも携わった一人として、ありがたくも、縁あって、この4月より常務理事を仰せつかりました。当時の関係者のご労苦をしっかりと受け継ぎ、微力ではありますが、皆様方のご意見等を十分伺いながら、現状に満足することなく、常により良い研修、より良い人材育成ができるよう創意工夫に努めていきたいと考えています。

さて、平成28年度の研修計画は、既に皆様方にはご案内のとおり、昨年度策定した「市町村職員研修 第3次研修基本方針」等に基づき、市町村職員研修(10講座増、定員477人増)は勿論のこと、県職員研修(3講座増、定員751人増)、合同研修(前記の内数:6講座増、定員342人増)ともども、充実・強化した内容でスタートしています。これまでの前半部分は、新採用職員研修や新任課長級職員研修などの「階層別研修」が中心でしたが、これからは、自ら選択して受講で

きる「職務能力向上研修(キャリアアップ研修)」や「行政実務研修」などが合同研修を中心に連日、開催されます。まだ一度も当センターに来たことがないという方もいらっしゃるようですが、多彩な研修メニューを揃え、快適な研修環境を整えていますので、多くの方々の受講をお待ちしています。

ところで、今年度は思いもよらぬ「熊本地震」からのスタートとなりました。当センターも、各自治体での被災者支援等を最優先させるという観点から、地震直後に予定されていた4つの研修を急遽延期するなど対応に追われましたが、今後は、一日も早い復旧・復興、風評被害対策等に取り組んでいかなければなりません。

また、昨年度、県で策定した「安心・活力・発展プラン2015」や、全ての自治体で策定した「まち・ひと・しごと創生プラン」は、今年度が実質的なスタートの年であり、その実行は待ったなしの状況です。

加えて、国においては、消費税率アップの再延期が発表されたり、イギリスのEU離脱に向けた国民投票結果のニュースなど、我が国の財政・経済にとって、ひいては、我々地方行財政にも大きな影響を及ぼすであろう事柄が、ここ数ヶ月の内に立て続けに起こっています。

このように、我々地方自治体を取り巻く環境は、日々変化し、喫緊の課題が山積していく中で、改めて職員ひとり一人の資質・能力の向上と県・市町村の連携強化の重要性を再認識する3年目のスタートとなりました。我々センターは、大分の自治を担う人材育成の拠点として、皆様方の期待に応えられるよう、今後とも西嶋会長のもと、職員一丸となって取り組んでまいりますので、積極的な活用をよろしくお願いいたします。